



2019年度

JTTL選抜

全国チャンピオン卓球大会in藤沢

2019年12月14日(土) 於:秩父宮記念体育館

主催:日本卓球リーグ実業団連盟

後援:公益財団法人日本卓球協会

協力:神奈川県卓球協会

協賛:キリンビバレッジ株式会社

北海道・東北ブロック
JR東日本秋田(秋田県)

東海・北信越ブロック
日本製鉄名古屋(愛知県)
NTN桑名(三重県)

北関東ブロック
栃木銀行(栃木県)
JR東日本高崎(群馬県)
日製日立(茨城県)
鶴谷病院(群馬県)
岡本物流(茨城県)

近畿ブロック
日本製鉄広畑(兵庫県)
パナソニックLS(大阪府)

九州ブロック
日本製鉄大分(大分県)

中国・四国ブロック
フジ(愛媛県)

南関東ブロック
TOKYO GAS(東京都)
東京ガス千葉(千葉県)
警視庁(東京都)
東芝(神奈川県)

女子

キャノンメディカルシステムズ(東京都)

トプコン(東京都)

百五銀行(三重県)

日本製鉄大分(大分県)



日本卓球リーグ実業団連盟
会 長 原田 弘人

2019年度第10回JTTL選抜卓球大会を開催にあたり、ご参加いただき誠にありがとうございます。節目となる10回目の開催となり、新たに盛り上がる大会となることを大いに期待しております。

日本卓球リーグ実業団連盟は、2017年度に創立40周年を迎えました。50周年に向けて本連盟の更なる発展と活性化を目指してまいります。

さて、近年のオリンピック・世界選手権での日本代表勢の活躍は目覚ましく、様々なスポーツが人々に勇気や感動をあたえております。

現在の企業スポーツを取り巻く環境は、不安定な社会情勢の中においてそのあり方が問われる時代となっております。スポーツ界においてもガバナンスの確立、コンプライアンスの遵守などが求められています。

その一方で企業組織の中でスポーツは、社員の士気高揚や一体感の醸成、会社の社会貢献につながる極めて重要な役割を担っております。

また、昨今の卓球人気、ムーブメントを背景に競技に打ち込んでいる多くの子供たちの将来的な雇用により、社会で活躍する優れた人材育成の一翼を担っていくこととなります。これまで本大会に出場されている企業各社には、継続的に選手たちの受け皿となっただいております。

この点についても企業スポーツは卓球界に大きく貢献しその存在価値は必要不可欠であります。

そして、今回も私たちは、スポーツマンの本能である「腕を磨き」「腕を試す」ということを満たす本大会を開催いたします。

この大会はまず地理的に近い近隣の方たちで地域ブロック大会を行い、次にその上位者によるチャンピオン大会を行うものです。実業団チームがより高いレベルで「腕を磨き」「腕を試す」機会であります。

その目的は大きく三つあります。

① 実業団チームの活性化と強化が狙いです。さらにブロックの代表が集まり、チャンピオン大会で磨きをかけたいと思います。

② 費用をかけない、時間をかけないで開催することを前提とし、参加チームから幹事を選出してもらい、持ち回りで運営をしていきます。

③ 将来的にはブロック内で2部、3部という広がりを見せていきたいと考えます。

この目的を達成するためには、ご参加の皆さんには、ときにいろいろなご協力をお願いすることがあるかと思いますが、この点何卒よろしくお願い申し上げます。

今大会の開催にあたり、多大なご協力を賜りました幹事会社の皆様、審判員、役員の皆様、そして全ての関係者の皆様にご心より感謝申し上げます、ご参加いただいたチーム、選手に実りある大会となることを願い、挨拶とさせていただきます。

競技上の注意

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。
但し、リーグ戦における順位の設定は、日本リーグの取り決めによる。

1、ボール・ラバー・ラケット等について

- ◆ 使用球は日本卓球協会使用指定球「プラスチック白色球」40mmボールを使用する。
- ◆ 試合球は事前に選球所で各チーム2球選ぶこと。選球が無い場合は、主審の所持球を使用する。対戦する相手と希望するボールメーカーが違う場合は、対戦ごとにジャンケンで決定する。
- ◆ ラバーは、JTTAまたはITTFが公認したことを示すロゴがないといけない。
- ◆ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットかプレー領域内で手渡されたもので、すぐプレーをしなければならない。

2、抗議・タイムアウトについて

- ◆ 団体戦の抗議は、問題が生じたチームの監督のみが行うことができる。ただし、主審または副審による事実の判定に対し、抗議することは出来ない。
- ◆ 競技者または監督は、1試合を通じて、1分以内の「タイムアウト」を1回要求することができる。

3、試合中のアドバイスについて

- ◆ 団体戦では、競技者はベンチにいることを認められた誰からでもアドバイスを受けることが出来る。
- ◆ 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることが出来る。

4、その他の注意事項

- ◆ オーダー交換は試合開始前に主審へ提出してください。
- ◆ ベンチに入れるのは、登録メンバーに限ります。
- ◆ 試合中に起こった怪我または事故については、一切の責任は負いません。各自で管理願います。
ただし、各選手に傷害保険を掛けております。怪我や事故の起こった場合は、速やかに日本卓球リーグ事務局(TEL:03-5833-2382)までご連絡願います。

5、日本卓球リーグ前後期大会へのスポット出場

- ◆ **スポット出場参加料は20万円ですが、JTTL選抜・チャンピオン大会で優勝したチームは、半額(10万円)で日本卓球リーグ前後期大会に出場することができます。ただし、原則としてスポット出場は1回となります。**

◆ 試合順序

【男子】トーナメント表に基づいて行う。(全ての順位決定を行う)

【女子】①1-4 ・ 2-3 ②1-3 ・ 2-4 ③1-2 ・ 3-4

- ◆ リーグ戦における勝敗が同じ場合の順位決定については、「全対戦チーム間の成績比率(得点÷失点)による。(日本卓球リーグ特別ルール)

式 次 第

監督会議

- 1、 役員・監督集合
- 2、 チャンピオン大会の説明
 - ・ 試合順序の進め方について
 - ・ 1番ダブルス、2番～5番シングルス
 - ・ 試合中のケガ・事故等について
- 3、 メンバー変更について メンバー変更のあるチームは審判長へ届出
- 4、 2020年度開催について
 - ・ ブロック大会幹事へのヒアリング
 - ・ 増枠について
- 5、 諸連絡

開 会 式

- 1、 役員・選手集合
- 2、 開式通告
- 3、 開会の辞
- 4、 優勝杯返還 男子:TOKYO GAS(東京都)
女子:キヤノンメディカルシステムズ(東京都)
- 5、 競技上の注意 審判長
 - ・ ルールの確認
 - ・ タイムアウト実施について
 - ・ 勝敗が同じ場合の順位決定について
 - ・ タイムテーブル、コート変更など
 - ・ オーダー交換について
- 6、 会場使用上の注意
- 7、 閉式通告

閉 会 式

- 1、 役員・選手集合
- 2、 成績発表
- 3、 表彰 第1位～第3位 優勝杯、表彰状、表彰楯授与
- 4、 諸連絡
 - ・ 2020年度大会について
- 5、 閉式通告

タイムテーブル

★ 8:00開場

★ 数字は試合番号となります

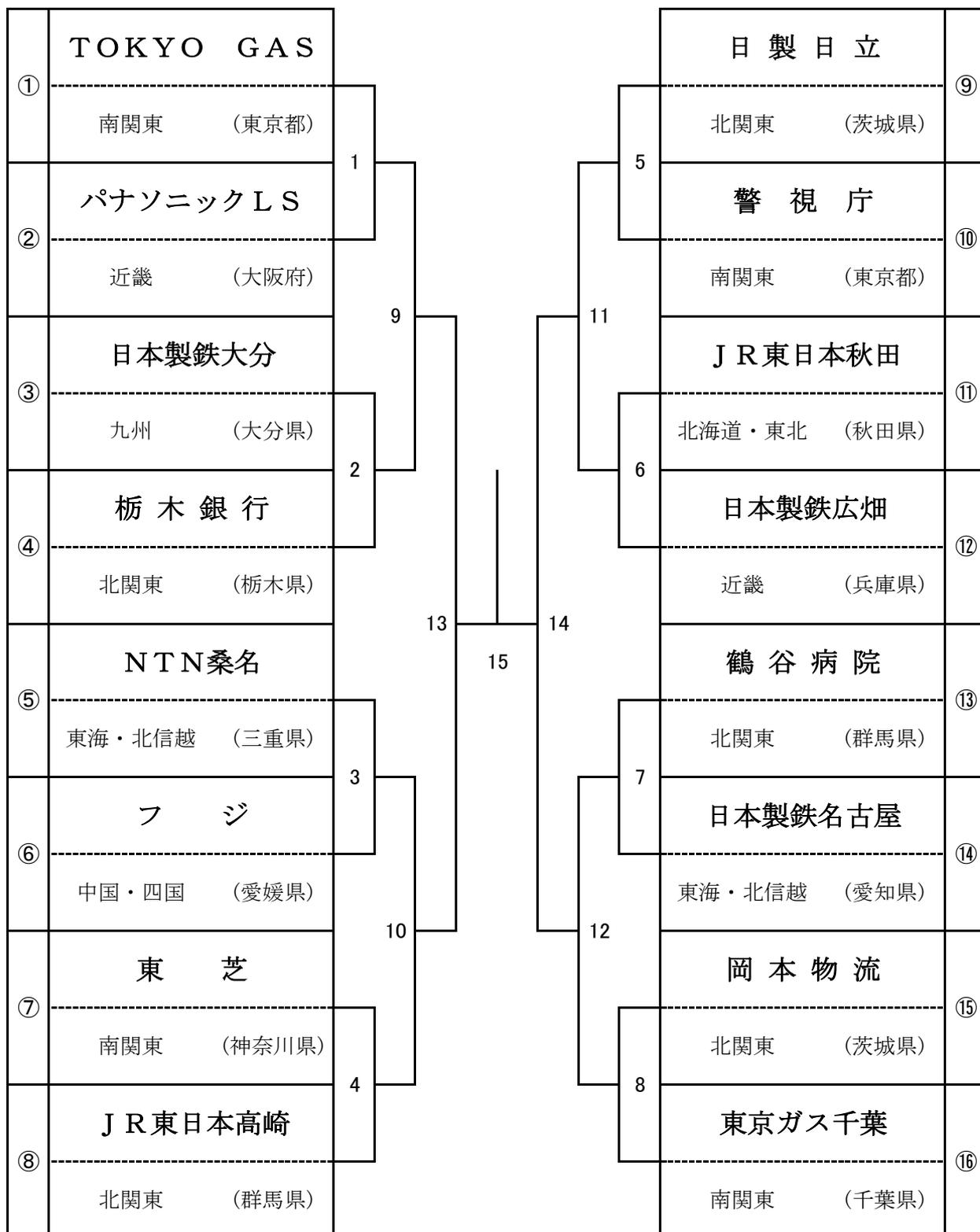
★ 試合進行によりコート変更する場合があります

★ 1～4コート、7～10コートは「Labo Live」によるインターネットライブ配信予定

	8:45～	9:00～	9:15～	9:30～	11:00～	12:30～	14:00～	15:30～	17:00
1	監督会議	開会式	オープニングセレモニー	男子	女子	男子	女子	女子	表彰式・閉会式
2				3	1-4	16	1-3	1-2	
3				男子	女子	男子	女子	女子	
4				2	2-3	17	2-4	3-4	
5				男子			男子	男子	
6				1			22	28	
7				男子	男子	男子	男子	男子	
8				7	9	18	14 準決勝	15 決勝	
9				男子	男子	男子	男子	男子	
10				6	12	19	13 準決勝	26	
11				男子			男子	男子	
12				5			23	29	
13				男子	男子	男子	男子	男子	
14				8	10	20	24	30	
15				男子	男子	男子	男子	男子	
16				4	11	21	25	31	
17							男子	男子	
18							27	32	

◆男子《 2019年度JTTL選抜・全国チャンピオン卓球大会 》

決勝トーナメント



3~4位決定戦



5~6位決定戦



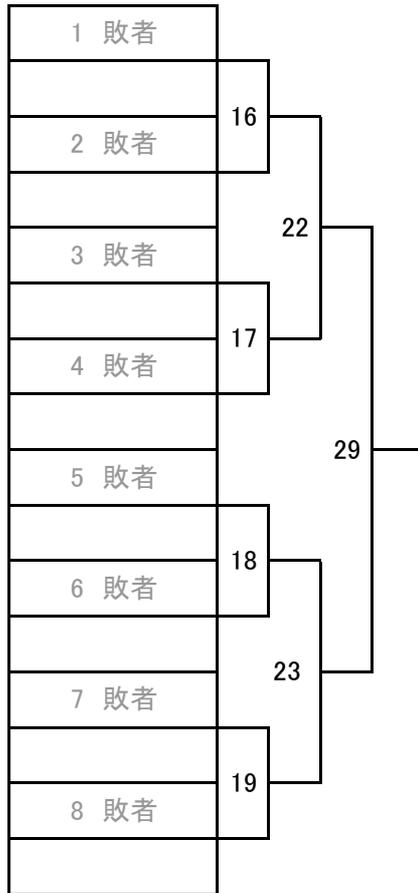
7~8位決定戦



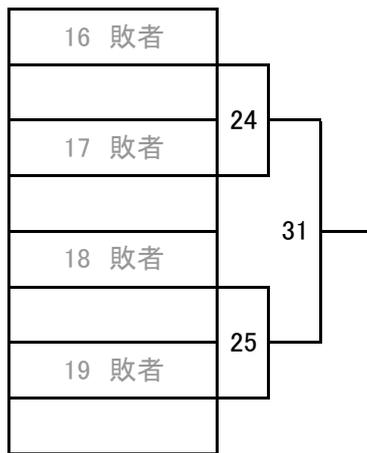
11~12位決定戦



9~10位決定戦



13~14位決定戦



15~16位決定戦



《大会結果》

第1位	
第2位	
第3位	
第4位	
第5位	
第6位	
第7位	
第8位	
第9位	
第10位	
第11位	
第12位	
第13位	
第14位	
第15位	
第16位	

北海道・東北ブロック代表

JR東日本秋田 (秋田県)		私たちJR東日本秋田チームは国鉄時代から続く歴史のあるクラブチームです。部員数も約30名程おり、大所帯のチームですがそれぞれ職場が違い集まっての練習はなかなか出来ません。各自が指導を兼ねながら学校で練習したり、他のクラブチームの練習に参加しています。JTTL選抜卓球大会では予選通過を目標に頑張ります。		
監督	粕谷 美暁			
コーチ	三浦 豊			
選手	打矢 優太 小野 紘輔 和泉 慧	矢野 雅大 高橋 悠也 保田 剛		

北関東ブロック代表

栃木銀行 (栃木県)		栃木銀行卓球部は、宇都宮市を活動拠点とし、会社や地元の理解・協力を得ながら活動を続けています。今年は新入社員も加入し、チームも勢いづいているので、JTTL選抜大会でも良い結果が残せるよう、一戦一戦全力で戦い抜きたいと思ひます。		
監督	鈴木 俊光			
コーチ	香取 宏禎			
選手	鈴木 俊光 油井 誠 廣澤 雄輔	小野澤卓也 小嶋 祐太 野澤 拓也	上澤 典久	

JR東日本高崎 (群馬県)				
監督	関口 繁			
コーチ	戸部 勝行			
選手	宮澤 淳 長尾 正人 伊藤 真也	阿部 溪太 六本木悠汰 青木 郁也		

日製日立 (茨城県)				
監督	川田 裕士			
コーチ				
選手	松原 和博 市川 純希 高田 直騎	井坂 純一 菊池 真登 吉村 友斗		

鶴谷病院 (群馬県)		鶴谷病院は昭和29年に開設しました。現在では、伊勢崎市東部、太田市西部、深谷市の北部を圏域として、この地域で必要とされる医療・介護サービスの提供を目指しています。卓球部は、仕事と卓球の両立を目指し、職場の方々のご理解とご協力を頂きながら、全国大会で上位進出できるよう、日々練習に励んでいます。温かいご声援をよろしく願ひいたします。		
監督	鶴谷 英樹			
コーチ	森本 高祥			
選手	三原 健二 森本 高祥 柳沢 邦治	綿貫 辰也 長井 優季 山市 聡史	加藤 慎治	

岡本物流 (茨城県)				
監督	久保 正人			
コーチ	吉野 大輔			
選手	渡辺 拓 阿久津智史 吉村 裕樹	黒川 幹也 小口 悠介		

南関東ブロック代表

TOKYO GAS (東京都)		東京ガス卓球部は、「仕事と卓球の両立」を活動方針に掲げ日々取り組んでおります。 JTTL選抜卓球大会は第1回大会から参加しており、本大会で昨年、一昨年と2連覇することができました。今年も優勝を目指し、3連覇達成できるよう頑張ります！		
監督 コーチ	川路 大志			
選手	石田健太郎 南波 裕輝 川路 斗真	岡村 勇希 有川 直人 西村 馨史	鈴木 翔太	

東京ガス千葉 (千葉県)		東京ガス卓球部は、「仕事と卓球の両立」を活動方針に掲げ日々取り組んでおります。 昨年の本大会の成績は準優勝という結果だったので、今年は初優勝目指して頑張ります！		
監督 コーチ	平原 雄紀			
選手	平原 雄紀 上園 友和 中本 敦雄	相良 俊希 岩城 達輝		

警視庁 (東京都)				
監督 コーチ	池田 俊裕 大谷 洋介			
選手	大谷 洋介 小倉 孝太 渡邊 崇文	赤司 健一 山本龍之介 北村 勇樹	和田 悠汰	

東 芝 (神奈川県)		東芝卓球部は神奈川県川崎市・横浜市を拠点に活動しており、今年は4年ぶりに実業団本選へ出場することができました。 今大会も4年ぶりの出場となりますが、更なるレベルアップとチャンピオン大会出場を目指し、チーム一丸となって頑張っております。		
監督 コーチ	笠原 俊樹 山岡 敦志			
選手	山本 翔太 藤本 巧 丸山 翔平	脇村 泰平 三浦 恵斗 周 勝	山岡 敦志	

東海・北信越ブロック代表

日本製鉄名古屋 (愛知県)		日本製鉄は、「世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します」を企業理念に掲げている会社です。 今大会はチーム一丸となって挑戦し、好成績に繋がりたいと意気込んでいます。 宜しくお願いします。		
監督 コーチ	早瀬 団平			
選手	南谷 将成 樋渡 光樹 安藤 史弥	永田 竜也 高橋 直也 北川 天智		

NTN 桑名 (三重県)				
監督 コーチ	矢野 友次 浜田 晋			
選手	岡田 天志 岡田 理志 河辺 隆希	番条 晃大		

近畿ブロック代表

日本製鉄広畑 (兵庫県)		日本製鉄広畑卓球部は今年で創部70年目を迎え、平成6年から平成12年には日本リーグにも所属していました。 仕事と卓球を両立しながら、全国大会で上位進出出来るように、切磋琢磨しチーム一丸となって頑張っていきたいです。		
監督 コーチ	三浦 正義			
選手	三浦 正義 高田 努 福田 知治	浅子 匡映 川上 侑輝 竹村 瑞生	合田 拓夢	

パナソニックLS (大阪府)		パナソニック株式会社ライフソリューションズ社の従業員を中心に約30名が所属しており、全日本実業団卓球選手権出場を目指して、週2回の練習と隔月開催の部内リーグ戦を行っています。		
監督 コーチ	城所 正博 増本 進吾			
選手	増本 進吾 谷口 基浩 岩川 幹生	城所 正博 翁 浩二 井上 琢洋	森川 顕洋	

中国・四国ブロック代表

フジ (愛媛県)		フジは中四国エリアで地域に根ざしたスーパーを展開しており、2017年に創業50周年を迎えました。 卓球部は設立6年目で、四国卓球選手権、JTTL選抜卓球大会では優勝の実績があります。 仕事と両立しながら、互いに切磋琢磨し、ベストを尽くします！		
監督 コーチ	井上 祥			
選手	井上 一輝 中村 圭介 井上 大輝	鶴身 昂世 高橋 拓己		

九州ブロック代表

日本製鉄大分 (大分県)		日本製鉄大分卓球部男子は、1971年(昭和46年)創部の伝統あるチームで、現在21名で活動しています。 今年度もベストを尽くし、良い成績を収められるように頑張ります。		
監督 コーチ	三浦 徹 友田 誠			
選手	高羽 卓哉 松原 公家 長野 恭大	近藤 龍斗 長野 将大 秋吉 隼		

◆女子

《 2019年度JTTL選抜・全国チャンピオン卓球大会 》

		キャノン メディカル システムズ	トプコン	百五銀行	日本製鉄 大分	勝 敗	得 失	得失率	順位
1	キャノンメディカル システムズ	/				—	—		
2	トプコン					—	—		
3	百五銀行					—	—		
4	日本製鉄大分					—	—		

キャノンメディカルシステムズ (東京都)		<p>私たちキャノンメディカルシステムズ㈱は、昨年社名変更し、その記念すべき年に優勝することができました。創部は44年の歴史があり、これは会社や諸先輩方の応援のおかげと感謝しております。今年も優勝を目標として連覇という形で恩返しできるよう頑張ります。</p>		
監督	関 尚平			
選手	飛永 亜希 永田 彩夏 林 めぐみ			
コーチ	唐沢 優佳	鳥屋 真帆		

トプコン (東京都)		<p>トプコンは、「Topcon for Human Life」を企業理念に掲げ、ワールドワイドに医食住の成長市場で事業を展開しています。卓球部は1954年に創部され、今年で65年目を迎えます。卓球と仕事を両立させながら、更なる進化を目指しています。よろしくお願ひします。</p>		
監督	金枝 雅之			
選手	大内 梓 永塩亜希子 内藤 慶子			
コーチ		古川 聖奈 湯本 早紀 滑川 明佳		

百五銀行 (三重県)		<p>長年会社や地元の理解と協力を得ながら、当行卓球部は変わらぬ活動を続けています。この数年、実業団本戦では接戦をしながら勝ち星に恵まれません、この選抜大会では他チームと交流も図りながら、全力で戦い、一つでも多く勝てるよう頑張ります。</p>		
監督	土肥 良圭			
選手	長谷川晃子 中原 恵美 後藤佑実子			
コーチ		近藤 愛子 北川 夢香		

日本製鉄大分 (大分県)		<p>日本製鉄大分卓球部女子は、今年度全日本実業団卓球選手権大会に初出場し、JTTL選抜卓球大会も初出場になります。チーム一丸となって全力で戦い、一勝でも多くできるように頑張ります。</p>		
監督	三浦 徹			
選手	辻原 麻希 野中しおり 内山 美江			
コーチ	友田 誠			

歴 代 記 録

回数 (年度)		男 子	女 子
第1回 (2010年度)	優勝	新日鐵名古屋 (愛知県)	東芝メディカルシステムズ (栃木県)
	第2位	東京電力 (東京都)	NTT東日本 (東京都)
	第3位	NTT東日本東京 (東京都)	百五銀行 (三重県)
第2回 (2011年度)	優勝	日製日立 (茨城県)	東芝メディカルシステムズ (栃木県)
	第2位	シンコー (広島県)	東信電気 (神奈川県)
	第3位	新日鐵名古屋 (愛知県)	青木信用金庫 (埼玉県)
第3回 (2012年度)	優勝	東京ガス (東京都)	東芝メディカルシステムズ (東京都)
	第2位	鶴谷病院 (群馬県)	東信電気 (神奈川県)
	第3位	新日鐵住金名古屋 (愛知県)	日製日立 (茨城県)
第4回 (2013年度)	優勝	鶴谷病院 (群馬県)	—
	第2位	日野自動車 (東京都)	
	第3位	JR東日本高崎 (群馬県)	
第5回 (2014年度)	優勝	日野自動車 (東京都)	東芝メディカルシステムズ (東京都)
	第2位	日製日立 (茨城県)	東信電気 (神奈川県)
	第3位	東京ガス (東京都)	青木信用金庫 (埼玉県)
第6回 (2015年度)	優勝	新日鐵住金名古屋 (愛知県)	東芝メディカルシステムズ (東京都)
	第2位	東京ガス (東京都)	NTT東日本東京 (東京都)
	第3位	JR東日本高崎 (群馬県)	青木信用金庫 (埼玉県)
第7回 (2016年度)	優勝	フジ (愛媛県)	JR西日本 (大阪府)
	第2位	新日鐵住金名古屋 (愛知県)	東芝メディカルシステムズ (東京都)
	第3位	東京ガス (東京都)	青木信用金庫 (埼玉県)
第8回 (2017年度)	優勝	東京ガス (東京都)	東芝メディカルシステムズ (東京都)
	第2位	JR東日本高崎 (群馬県)	青木信用金庫 (埼玉県)
	第3位	新日鐵住金名古屋 (愛知県)	トプコン (東京都)
第9回 (2018年度)	優勝	東京ガス (東京都)	キャノンメディカルシステムズ (東京都)
	第2位	東京ガス千葉 (千葉県)	青木信用金庫 (埼玉県)
	第3位	日製日立 (茨城県)	トプコン (東京都)
第10回 (2019年度)	優勝		
	第2位		
	第3位		

大会役員（順不同）

- 名誉会長 : 梅原 誠
- 会長 : 原田 弘人
- 副会長 : 重藤 隆文 伊藤 弘美
- 名誉顧問 : 三浦 正英 河合 弘行
- 顧問 : 鶴島 琢夫 三木 正市 伊澤 孝 遠藤 俊一
- 専務理事 : 佐藤 真二
- 理事 : 佐々木賢治 村田 渉 石井 邦靖 大竹 幸一 宮本 佳明 吉田 秀市
工藤 光年 藤井 正人 小宮 真 岡西 眞人 田中 光晴 楠井 宏和
山村 佳弘 大宿 有三 児玉 博文 保田 晃宏 村松 茂晴 山口 力
大島 剛 山田 達也 岡崎 正敏 伊藤 良夏 河瀬 一正 坂口 博之
戸塚 鉄生
- 常務理事 : 佐々木賢治 河田 靖司 伊藤 誠 杉井 孝至 田中 光晴 大島 剛
北平 和史
- 監事 : 八木 繁雄 浜中 史郎
- 参与 : 浅田 公彦 小林 秀行 三木 圭一 佐藤 正喜 尾留川一仁 宮澤 幸夫
村上 恭和 酒井 新二 黛 行雄

競技役員

- 大会委員長 : 伊藤 弘美
- 競技委員長 : 杉井 孝至
副委員長 : 松本 益雄 小畑 幸生
- 審判長 : 柏木 眞子
副審判長 : 井置 節子
審判員 : 原田香代子 鈴木 早苗 森川由美子 古谷みどり 西野 孝子 小池 正子
岩下 和美 小山由美子 掛川二美代 渡辺みどり 小池トシミ 鈴木 和子
田籠 妙子 持主 正治 佐野 節子 千葉 陽子 佐藤 洋子 亀山 敏子
佐藤 紀子 大矢由美子 大野 匡子 松岡 潮美 岩佐 正道 武井ふみ子
佐復佐知子 宮下 賀子 入部 祥子 尾子 朋子 福田恵美子 北分 睦子
- 総務・進行・式典・会場 : 小畑 幸生 松岡 俊志 川島 勇樹 森田 有城 筒井 惇仁 小鷹 好夫
- 記録・広報 : 吉田真奈美